

株主の皆様へ……1
数字で見るNRI……2
業種別およびセグメント別の概況……3
特集……4
新社長就任のお知らせ……6
トピックス……6
会社データ……8

Dream up the future.

NRIグループは、未来社会を洞察し、
その実現を担う『未来社会創発企業』として、
あくなき挑戦を続けます。

野村総合研究所
Nomura Research Institute

株主の皆様へ

To Our Shareholders



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当期は、輸出や生産など一部が持ち直したものの、企業収益は引き続き低迷し、景気は依然として厳しい状況となりました。景気の先行き不透明感が続くなか、企業の情報シス

テム投資に対する慎重な姿勢は変わらず、情報サービス産業を取り巻く経営環境も厳しい状況が続きました。このような環境のもと、NRIグループは、保険業、銀行業向け案件に注力しました。また、事業基盤の強化を図るべく、サービス業や製造業向けの新規案件に取り組みました。コスト面では外部委託費の適正化に努め、また、品質および生産性の向上、教育研修などによる人材育成の強化に継続的に取り組みました。こうした活動の結果、2010年3月期第3四半期（2009年4月1日～12月31日）の売上高は前年同期比0.4%増の2,521億円となりました。外部委託費の適正化が進んだものの、ソフトウェア投資による償却費の増加などにより、営業利益は前年同期比12.2%減の327億円、四半期純利益は前年同期比13.9%減の186億円となりました。

わが国の景気は、一部で持ち直しの兆しが出てきたものの、世界景気の下振れ懸念、デフレなど景気の下押しリスクが存在し、不透明な状況が続いています。企業における景況感も依然として低水準であり、企業の情報システム投資に対する慎重な姿勢が続いています。このような環境のなか、NRIグループは引き続き、保険業、サービス業や製造業向け事業へ注力するほか、外部委託費の適正化やコスト削減、プロジェクト管理の徹底などに努めていきます。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2010年2月
代表取締役会長兼社長
(CEO&COO)

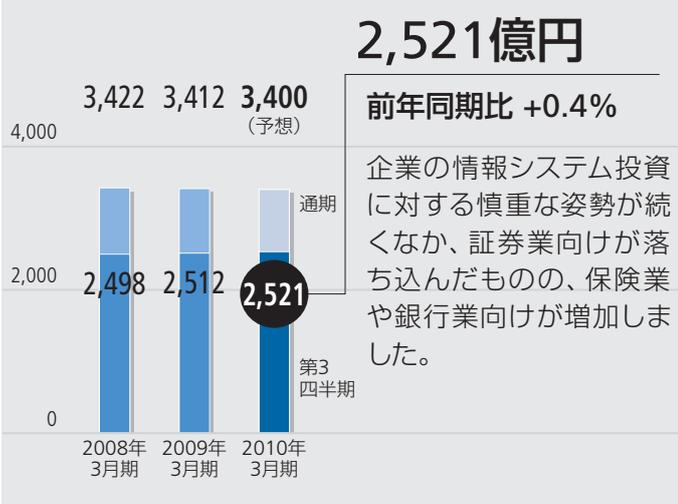
藤沼 彰久

数字で見るNRI

NRI at a Glance

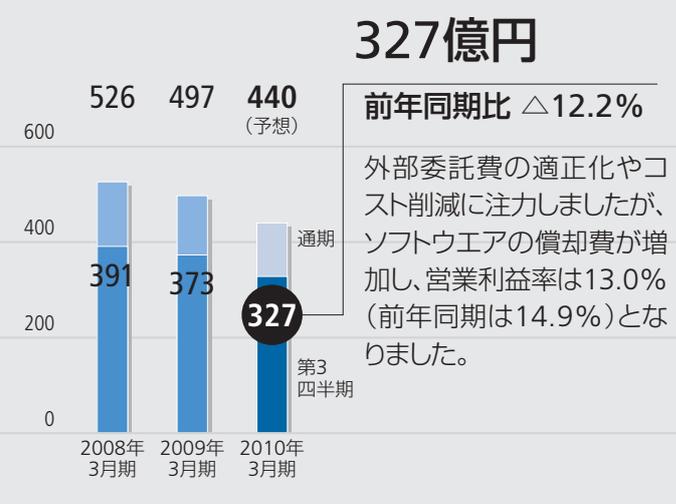
売上高

(単位：億円)



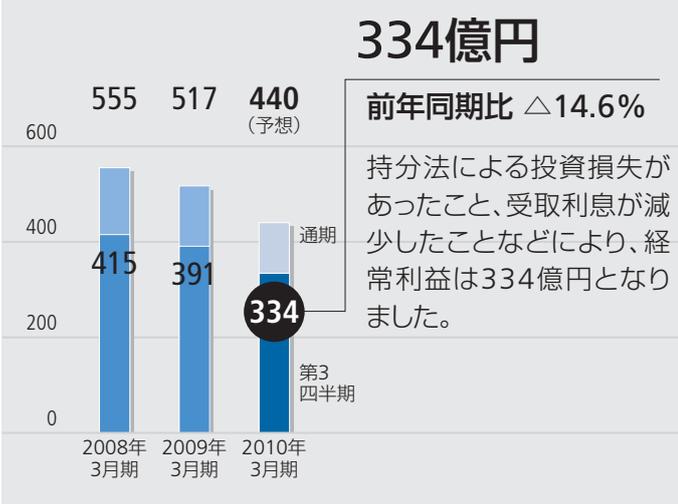
営業利益

(単位：億円)



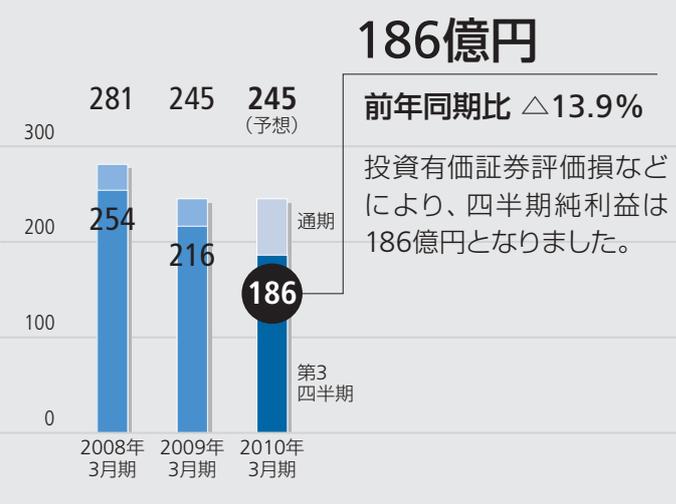
経常利益

(単位：億円)



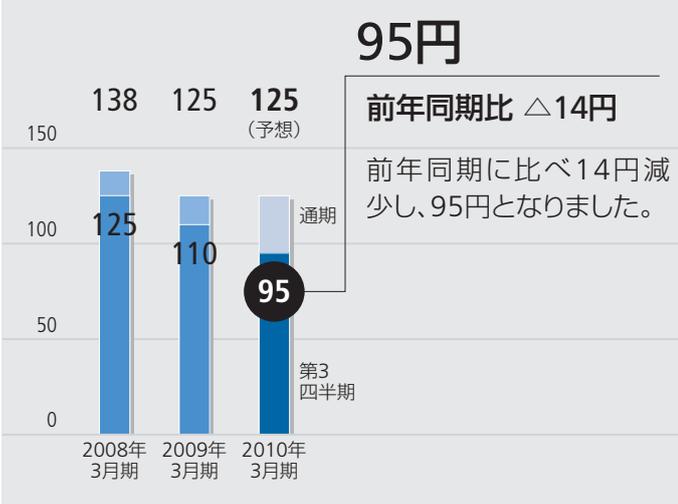
四半期(当期)純利益

(単位：億円)



1株当たり四半期(当期)純利益

(単位：円)



(注) 1. 記載金額は、億円未満(1株当たり四半期(当期)純利益は円未満)を切捨てて表示しております。

2. 2010年3月期の通期予想は、2009年10月23日に発表したものです。業績予想は、発表時点で入手可能な情報に基づき作成しております。したがって、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により、実際の売上高、利益は当該予想と異なる結果となる可能性があります。

業種別およびセグメント別の概況

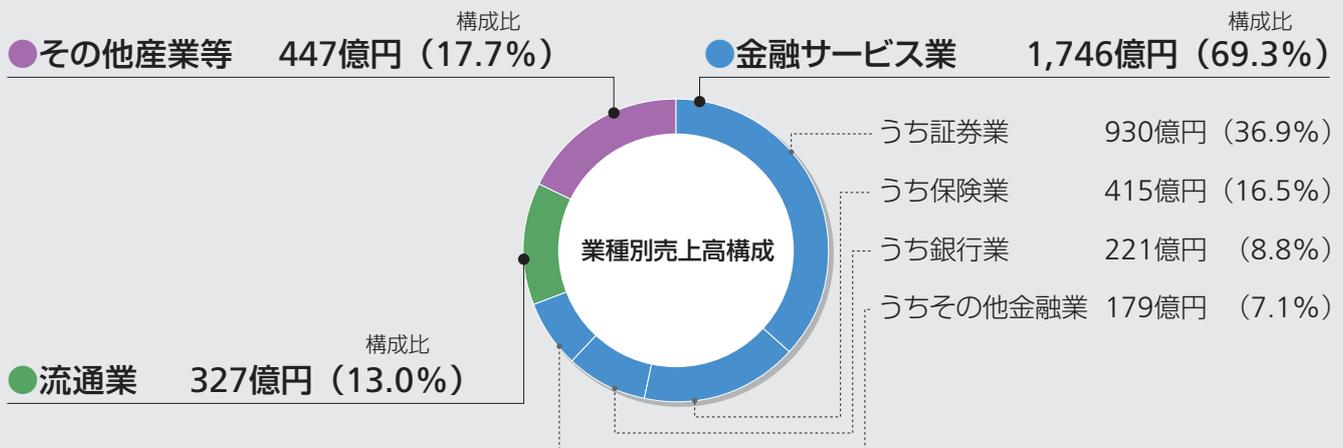
Summary by Sector and Segment

2010年 Vol.1

2010年3月期 第3四半期

業種別売上高

(単位：億円、%)



金融サービス業向けは、証券業向けが落ち込むなか保険業向けや銀行業向けが伸びました。

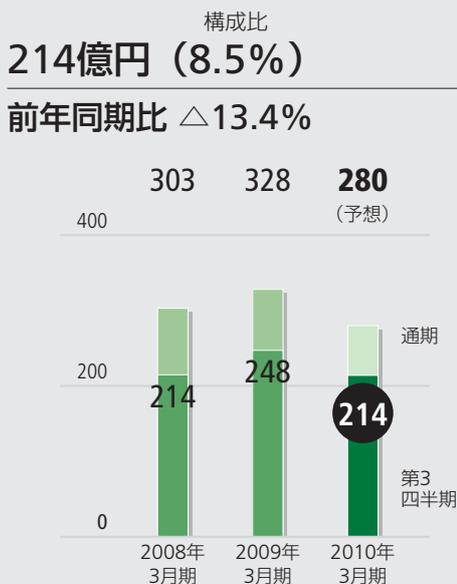
(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しております。

セグメント (サービス) 別売上高

(単位：億円、%)

●コンサルティングサービス

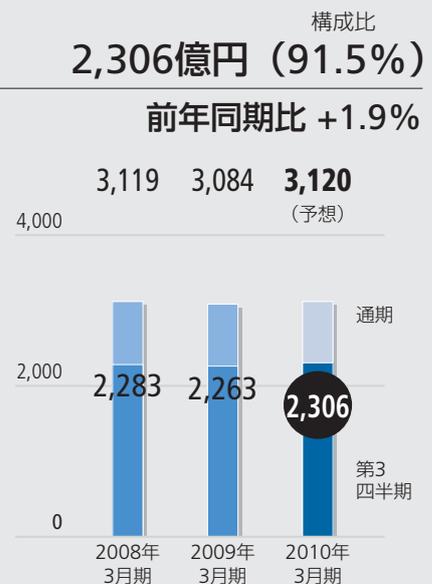
調査・研究、経営コンサルティング、システムコンサルティングなどのサービスを提供しています。NRIグループではナレッジ(=知)を核にして、お客様の問題解決と新しいビジネスの創出を手がけています。



景気の低迷を受け、経営コンサルティング案件およびシステムコンサルティング案件が大幅に減少し、前年同期に比べ33億円の減収となりました。

●ITソリューションサービス

最先端の情報技術と長年にわたって蓄積してきた業務知識を活用し、お客様との事業・業務改革に関わるIT戦略パートナーとして、情報システムの企画・設計から、開発・運用までをおこなっています。



前年同期に比べ、42億円の増収となりました。証券業向けシステム開発が落ち込んだものの、証券業の主要顧客向けに大型アウトソーシングを今期から開始したことなどにより、運用サービスが増加しました。

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しております。

日系企業が取り組む、 中国での 情報セキュリティ

中国での情報セキュリティ意識は日本とは違う点があり、中国に拠点を置く日系企業は、現地での情報セキュリティ対策に頭を痛めています。2007年から中国現地企業の情報セキュリティの状況を調査してきた野村総合研究所 (NRI) 北京の長谷川剛が、最新の状況について語ります。

NRI北京は中国に拠点を置く日系企業の情報セキュリティ対策を支援しています。海外拠点では、スタッフが少ないことが多く、情報セキュリティにまでとても手が回らない状況です。しかし、中国でもウィルスや情報漏洩の脅威が高まっており、多くの日系企業は対策に頭を痛めています。

そもそも、中国における情報セキュリティの現状はどうなっているのでしょうか。理解するには、今から10年ほど前の日本を思い出してもらおうとよいでしょう。当時の日本では、人々がようやくパソコンやメールを使い始め、ウィルスも問題となりはじめていました。その状況に今の中国は似ています。個人情報保護法をきっかけに意識が高まった日本と異なり、現在の中国では、個人情報の重要

性、他人に渡ることの危険性はまだまだあまり意識されていません。ただ、10年前の日本と違って現在の中国には、日本と同様に十分なITインフラ環境が整っています。中国での情報セキュリティ対策は、意識とIT環境の間にギャップがある中国の現状を踏まえて、立てる必要があります。

対策ツールを導入し、 活用を徹底する

われわれが2009年7月に実施したアンケート調査には、中国の様相が表れていると思います。例えば、この1年間で中国に拠点を置く日系企業に発生した情報セキュリティ被害のトップは、ウィルスやワームの感染でした。その経路は、ウェブサイトへのアクセス

や、外部から持ち込んだパソコンやメディア、受信メールなどが目立っています。

対策のポイントは 情報の出入り口

中国では、会社のパソコンに対する社員の使い方意識も日本とは異なります。現地社員が与えられたパソコンから、警戒心を持たずに多数のウェブサイトアクセスし、いつのまにか感染したウィルスを社内にはばまっていたなどということも起きています。

それでは、中国現地ならではの対策として、何をすればよいのでしょうか。すぐにできることとして、私は教育によるルールの徹底が重要だと考えています。ポイントは、情報の出入り口——パソ

コンやネットワークの対策です。適切なウィルス対策ソフト利用の監視・診断やウェブサイトへのアクセスを制限するフィルタリングソフトなどのツールを導入して利用を強制する。勝手に停止、またはアンインストールさせない。こうした明快なルールを示して徹底させる必要があります。

社内を巻き込んで前向きに取り組む

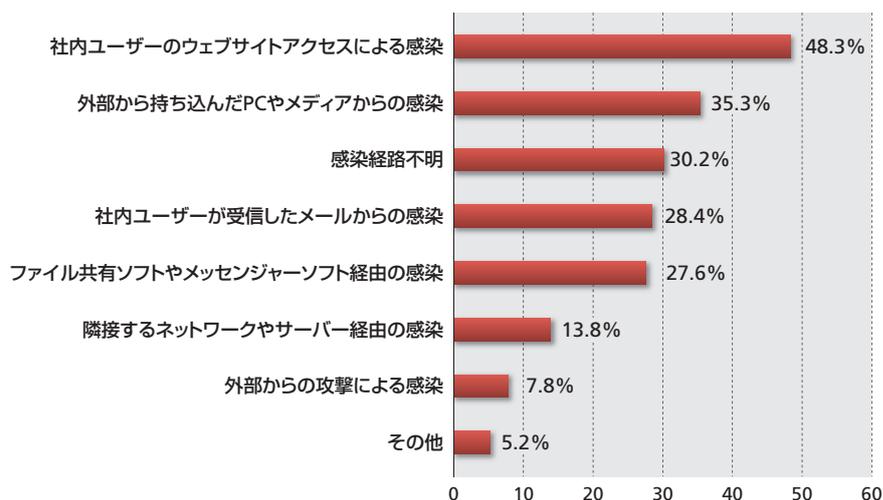
情報セキュリティというと、堅苦しく考えがちです。しかし、ルールの徹底が、例えば、会社の成長や社員のスキル向上につながるなどメリットを示したり、褒賞の仕組みを用意したりしながら、全社で前向きに取り組んでもらえたらと

思います。

ITやネットワークの世界において、日本と中国の関係は今後も強

まっていくでしょう。だからこそ情報セキュリティ対策も、一層重要になるのです。

中国進出の日系企業におけるウィルスやワームへの感染経路 (N=116)



ウェブサイトへの不用意なアクセスなど、ルールが徹底されていないなかで感染したと思われる例が多く見受けられる

出典) 野村総合研究所(北京)上海分公司/NRIセキュアテクノロジーズ
「中国進出の日系企業における情報セキュリティ実態調査2009」2009年7月～9月に実施

NRIグループでは、NRI北京が中国において日系企業などの情報セキュリティ対策を支援しているほか、NRIセキュアテクノロジーズがお客様の情報セキュリティの課題解決に取り組んでおります。

野村総合研究所(北京)有限公司(2002年10月設立)



北京を拠点に、NRIグループのアジア・中国市場でのシステムソリューション事業活動を支援しているのがNRI北京です。流通系システム開発を中心に事業展開をおこなっているほか、2008年度より開始した金融系システム開発などさらなる事業拡大に積極的に取り組んでおります。また、2005年8月には中国に進出する日本企業へのビジネスチャンス拡大に向けて、上海支店を開設しました。さらに、現地人材の採用を積極化するなど、中国国内での事業活動を着実に拡げています。

NRIセキュアテクノロジーズ株式会社(2000年8月設立)



情報セキュリティ専門会社としてNRIセキュアテクノロジーズでは技術と経営の両面から情報セキュリティを考え、情報セキュリティの活用が円滑におこなえるようコンサルティング、情報システムの導入、教育、運用、監査に至るまでを一括して金融機関をはじめとする様々な業界のお客様へ提供しています。

新社長就任のお知らせ

Information



2010年4月1日より、新社長が就任します

嶋本 正（しまもと・ただし） 1954年2月8日生

1976年4月にNRIの前身の野村コンピュータシステム株式会社に入社後、主に情報技術の開発や産業システム分野の事業に従事し、郵政総合情報通信ネットワークの構築に携わるなどNRIの業容拡大に尽力してきました。

また、事業部門責任者として長期経営ビジョン「NRIビジョン2015」の策定を主導し、その実現に向けた取り組みを進めています。

トピックス

Topics

「みんなの口座管理。」提供開始

～複数の口座情報をひとつの画面で確認できる口座管理サービス～（2009年10月22日発表）



NRIと株式会社セブン銀行は、個人のお客様向けに、複数の金融機関の口座情報などをウェブサイ

ト上のひとつの画面で確認できるサービス「みんなの口座管理。」の提供を開始しました。ひとつのIDとパスワードで、複数の銀行や証券、ポイントなどの口座残高や、取引履歴、クレジットカード利用明細などを確認できます。このサービスには、複数サイトの情報を集約して表示するNRIのアグリゲーションサービス*「InterCollage」が機能しています。

*アグリゲーションサービス

一度のID/パスワードの入力で、インターネットバンキングの銀行口座やクレジットの利用明細など、複数サイトの情報を集約して表示するサービス。

サービスの特徴

- 複数の金融機関の口座残高や取引履歴を一括で確認
- ひとつのIDとパスワードで登録している金融機関のサイトへのログインが可能
- 金融資産の時価も一括で確認
- ポイントやマイル、公共料金、インターネットショッピングなどのサイトも登録可能
- 不正アクセスから個人情報などを守る、24時間365日の監視体制と高度なセキュリティ機能

NTTデータと共同でITサービス産業の活性化に向けた取り組みを開始

～第一弾として2月26日に「ITと新社会デザインフォーラム2010」を開催～（2009年12月8日発表）

NRIは株式会社NTTデータと共同で、ITサービス産業の活性化に向けた取り組みを開始します。

現在、グローバルな社会や事

業環境の大きな変化に直面し、日本、そしてあらゆる産業が転換期にあると言われています。この日本全体を覆う困難の打開に向け

て、ITで貢献するとともに、この困難な時期を、私たちITサービス産業にとって、自らを変革し、産業の魅力を高めていくための機会とし

ていきたいという想いで両社が一致しました。

第一弾として、「ITと新社会デザインフォーラム2010」を2010年2月26日に開催しました。本フォーラムでは、ITの高度活用に

よる新しい社会像とそれを支えるITサービス産業のあるべき姿を提示し、その実現を担う「IT人材像」について提言しました。

NTTデータとNRIは本フォーラムの開催をスタートとし、ITサービ

ス産業がより魅力的な産業・業界となっていくために、ITに関する教育・研究や人材育成などの取り組みの推進を検討してまいります。

5番目の総合センター「横浜みなと総合センター」が竣工

(2009年12月16日)



NRIは、2010年2月、新しいオフィス横浜駅の「きた東口」に開設しました。

NRIでは、これまでに「丸の内」、「木場」、「横浜」、「大阪」の4つの総合センターを開設しており、「横浜みなと総合センター」は5番目となります。

NRIは2008年3月に長期経営ビジョン「NRIビジョン2015」を策定しており、当総合センターの開設は、このビジョンに沿った当社の事業拡大に対応するためのオフィス基盤構築の一環です。当総合センターは、主に金融、保険系

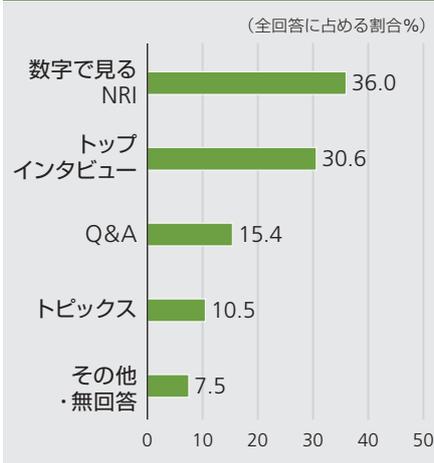
システムの開発拠点として運営していく予定です。

当総合センターは、2009年12月16日に竣工した「横浜ダイヤビルディング」のオフィスフロア(10～30階)全てを使用し、延床面積は9,675坪(31,982㎡)です。当ビルは、外壁面に日本最大級の建材一体型太陽光発電パネルが設置されるとともに、太陽光自動追尾センサーによる自動制御ブラインドが採用されるなどの各種の省エネルギー対策が施されています。

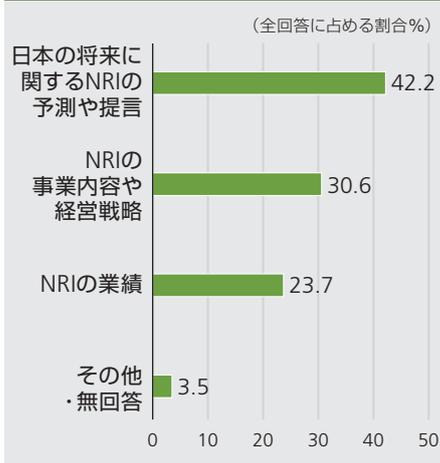
株主の皆様へのアンケートより (有効回答数: 1,712)

年に2回、「NRIだより」にアンケートを同封し、株主の皆様のご意見をおうかがいしています。「NRIだより2009年Vol.3」に同封したアンケートに、多くのご返信をいただきありがとうございます。右にご紹介した以外にも、業績や配当、未来創発フォーラムなどに関して多くのご意見・ご希望をいただきました。皆様のご期待にお応えできるよう、今後も努力してまいります。

Q. NRIだよりでもっとも関心を持った記事(複数回答)



Q. NRIだよりに掲載してほしい内容(複数回答)



会社概要

会社名	株式会社 野村総合研究所
英文社名	Nomura Research Institute, Ltd.
所在地	〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6番5号 丸の内北口ビル
沿革	1965年4月 株式会社野村総合研究所（NRI）設立 1966年1月 株式会社野村電子計算センター（NCC）設立 1988年1月 両社が合併
資本金	186億円
代表者	代表取締役会長兼社長 藤沼 彰久
従業員数	5,326名／NRIグループ6,280名（2009年12月31日現在）

株主メモ

- 株券電子化にともない、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、下記特別口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	6月
単元株式数	100 株
公告方法	電子公告（当社ホームページ http://www.nri.co.jp ） ただし、事故その他のやむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (連絡先・照会先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 ☎ 0120-232-711（通話料無料）